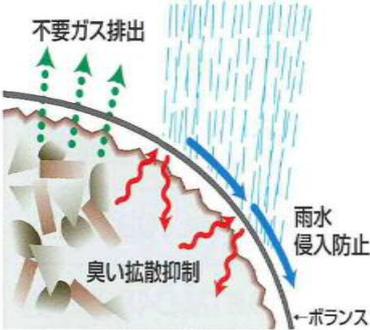


商品・工法名称	「ボランス CRE シリーズ」通気性防水シート
商品・工法の分類	<p>■瓦礫処理、■除染作業、■除染仮置き、□復旧・復興、□その他</p>
商品・工法概要	<p>通気防水機能が有るシート。現場保管場所・仮置場での上部カバーシートとして適用出来る。</p> <p>不織布で通気防水フィルムを挟んだ構造で、不織布に難燃(屋外使用のテント類同様 45° ミクロバーナー法合格)、消臭、保護、色目など目的に応じた機能を付与することが可能となる。</p>
商品規格・概略図等	<p>雨水の浸透は防ぎ、発生ガスは透過させるシート。 <規格一覧とメーカー定価> 通常タイプ 表層黒色(CRE500) 1,900 円/m² 表層緑色(CRE500G) 2,200 円/m² 安価タイプ(CRE350) 1,300 円/m² 安価・消臭タイプ(CRE350D) 1,700 円/m² 接合部強力タイプ 表層緑色(CRE500GF) 2,600 円/m²</p> <p>規格：2 m巾×50 m巻</p> <p>※日本遮水工協会による自主基準(3版)に該当した商品。</p> 
使用・施工条件 適応場所など	<p>処分場の適正閉鎖事業のキャッピングシート 現場保管場所・仮置場での上部カバーシート</p>
その他必要資材	<p>広幅可能が必要な場合は、加工工場または現地で自動溶着機による熱溶着加工が必要となる。通気性防水シートと底部遮水シートの接合は、熱溶着や接着剤により行う。また端部でシート捲り上げが考えられるため、ピン(L型固定ピン)による固定が必要となる。</p>
使用・施工上の 留意点	<p>現場保管場所・仮置場での施工では、大型土のう袋(フレコン)3～4段積み上げた後、フレコン上部は地盤を均すため土質またはジオコンポジットにより不陸をなくしてキャッピングシートを敷設する。不陸があるとシート表面に雨水が溜まり、シート接合部から内部に雨水が侵入する可能性がある。</p>
維持管理	<p>シートおよび接合部に損傷がないか、目視ならびに検査棒挿入検査により確認する。損傷がある場合は、同一素材での早期補修(パッチングや粘着テープ)を実施する。</p>
経済性	<p>遮水シート+ガス抜き管などに比べ施工が楽でコストも安いです。層毎に必要な機能も付与でき、保護層も予め一体となっており、他の通気防水シートに比べ保護マットが不要な分トータルコストにメリットがある。</p>
参考文献	<p>環境省ガイドライン、日本遮水工協会自主基準(3版)</p>
問合せ先	<p>東洋紡株式会社 スパンボンド事業部 石川、奥村 東京都中央区京橋一丁目17番10号 住友商事京橋ビル 電話03-6887-8858 FAX03-6887-8838 Masahiro_Ishikawa@toyobo.co.jp Yuji_Okumura@toyobo.co.jp</p>